

AOI グループ (AOI ホールディングス株式会社)



成長企業を支える Cisco Start ネットワークの管理性と信頼性向上を両立



製品 & サービス

■ Cisco Start シリーズ

- Cisco 841M J ギガビット対応 VPN ルータ
- Catalyst 2960L ギガビット対応 アクセス スイッチ
- Aironet 1830 コントローラ内蔵型 ワイヤレス LAN アクセス ポイント
- Cisco Meraki MR クラウド管理型 ワイヤレス LAN アクセス ポイント
- UCS C240 M2 ラック マウント サーバ

■ その他Cisco製品

- Cisco 892FJ サービス統合型ルータ
- Catalyst 3560 L3 スイッチ
- Catalyst 2960X L2 スイッチ
- ASA5512-X 適応型セキュリティ アプライアンス

課題

- 事業拡大によるネットワークの複雑化
- より信頼性の高いネットワークを構築する必要性

ソリューション

- Cisco Start シリーズの各種製品を適材適所に配置し、業務改革を促進

効果～今後

- ネットワーク管理コストの低減、信頼性向上
- 社内コミュニケーション改革、堅牢なセキュリティ環境の構築

北陸を中心にエネルギーと自動車の総合商社として事業を拡大する AOI グループ。ビジネスの拡大に伴い複雑化する社内システムに、中小企業向け ICT ソリューション Cisco Start を全面採用。全社のネットワーク管理性と信頼性を格段に向上させることに成功した。

中小企業に最適化された Cisco Start だからこそ、納得のコストでネットワーク管理性と信頼性を高めることができました。

—— AOI ホールディングス株式会社 情報システム室 課長 五十嵐 孝治 氏

1960 年創業の AOI グループは、福井県内最大規模の自動車学校、サービスステーションの運営や輸入自動車販売など事業を順調に拡大。車社会の北陸地区でライフラインを支える企業のひとつに成長。近年は次世代エネルギー事業やマリン事業なども手がけ、順調に事業を拡大している。

課題

ネットワークの複雑化と高まるセキュリティ要求 事業拡大と多角化に柔軟に対応するネットワークを模索

情報システム室 課長 五十嵐 孝治氏はこう話す。「事業の拡大により営業・販売データや各種個人情報など、取り扱うデータは増え続けていました。さらに近年事業を拡大している輸入車メーカーとのビジネスでは、厳しいセキュリティ要件を満たすため、IT システムの改善を継続的に行ってまいりました」。

情報システム部門の業務の増大に対応するため、同社はシステム機器およびデジタル複合機の保守サポートなど、長年にわたり取引実績のあった福井キヤノン事務機株式会社（以下、福井キヤノン）にネットワークの構築、運用など IT 業務の一部を委託。

当時の状況について、福井キヤノン Netsol リーダー 梅村 紀弘氏は、「各拠点のスイッチやルータ、アクセス ポイントなどに、さまざまなメーカーの機器が混在して使用されており、障害が起こった際の原因究明に時間がかかってしまう可能性が高い状況でした。事業の拡大と多角化に伴うニーズに柔軟に対応でき、かつ信頼性の高いネットワーク環境を構築する必要があったのです」と説明する。



AOI ホールディングス株式会社
情報システム室
課長
五十嵐 孝治 氏



福井キャノン事務機株式会社
Netsol リーダー
首都圏ビジネス担当
梅村 紀弘 氏



福井キャノン事務機株式会社
サポートオリエティ担当チーフ
ICT プランナー
岩田 正明 氏



福井キャノン事業機株式会社
ICT プランナー
白崎 泰彦 氏

また、専任の IT 管理者がない東京本社や小規模拠点においても、同社のビジネスを支えるネットワークを一元的に管理する必要にも迫られていた。

さらに、営業現場ではスマートフォンやタブレットなどのモバイル デバイスの導入が加速。業務の実態に合わせて、Wi-Fi 環境の整備も含む、ネットワーク基盤の強化が必要な状況だった。

ソリューション

中小企業向け ICT ソリューション Cisco Start を全面的に採用 Cisco Start の幅広いラインナップを適材適所に配置し、業務改革を促進

同社は、社内ネットワークの更新時期のタイミングで、中小企業向け ICT ソリューション Cisco Start を全面的に採用。本社各フロアのスイッチ (Cisco Catalyst 2960L シリーズ) やワイヤレス LAN アクセス ポイント (Cisco Aironet 1830 シリーズ) を始めとして、ネットワークの主要箇所に Cisco Start 製品を採用した。

福井キャノン ICT プランナー 白崎 泰彦氏は、「従来から、AOI グループ様にはシスコ製品の品質の高さをご認識いただいております。ネットワークの要所にシスコ製品を採用いただいておりましたが、全面採用には至っていませんでした。しかし、中小企業での利用を意識しつつも充実した機能は維持したまま、他社製品と比較しても競争力のある価格を設定した Cisco Start の登場により、データセンターやサーバ室から、小規模拠点のスイッチや各フロアのワイヤレスなどネットワークの末端に到るまで、高品質なシスコのソリューションの構成を幅広くご提案できるようになりました」と Cisco Start 導入の背景を説明する。

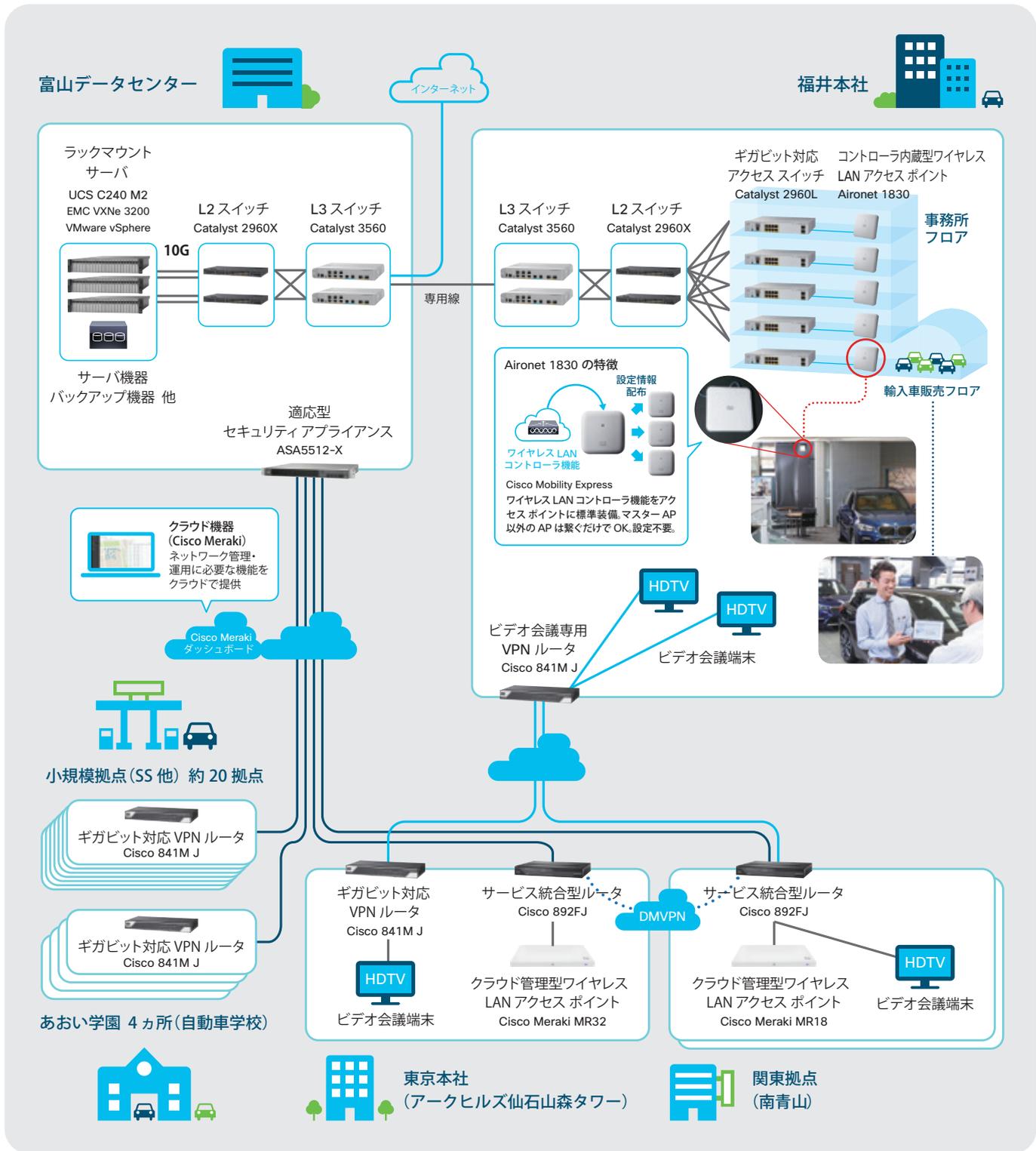
Cisco Start 製品ラインナップ

	オンプレミス	クラウド
コラボレーション	ビデオ会議端末 + Cisco Webex バンドル	Cisco Webex
サーバ	Cisco UCS-C シリーズ	Cisco Intersight
セキュリティ	Cisco ASA 5506-X シリーズ	Cisco AMP, Cisco Umbrella
ネットワーク	Cisco Catalyst 2960L シリーズ, Cisco Aironet 1800 シリーズ, Cisco 841M J シリーズ, Cisco WAP シリーズ	Cisco Meraki シリーズ

2018年10月現在

Cisco Start は、多様かつ生産性の高い働き方を実現する、中小企業向けの ICT ソリューション ブランド。ネットワーク、セキュリティ、サーバ、コラボレーションなど、幅広いソリューションを高機能かつ手頃な価格で提供している。
https://www.cisco.com/c/m/ja_jp/solutions/cisco-start/

梅村氏は「AOI グループ様は、会社規模としては大企業というわけではないと思いますが、北陸、特に福井県内では県民の生活を支えている重要な企業のひとつです。事業も多角的に展開しており、求められる IT システムへの要求は、大企業と同等、もしくはそれ以上であると言えます。シスコ製品は、もともと大企業やサービス プロバイダーでも利用可能な十分な性能を持ち合わせていますが、Cisco Start はそれら高機能製品をベースに機能を中小企業向けにスリム化し、さらに価格も抑えています。シスコの中小企業への取り組みに対する本気度を感じることができそうです」と Cisco Start について評価する。



導入企業

AOI グループ

(AOI ホールディングス株式会社)



本社所在地 福井県福井市二の宮 4-44-1
創業 1960年9月17日
資本金 3億800万円(グループ計)
業種 エネルギーおよび自動車関連の商品やサービスの企画、販売、自動車学校の運営
規模 従業員 537名
(2018年4月現在 グループ計)
URL <http://www.aioai.co.jp>

導入パートナー

福井キヤノン事務機株式会社



URL <http://netsol.jp>

効果～今後

ネットワークの管理性が格段に向上

次はコミュニケーション改革の推進とより堅牢なセキュリティ環境の構築へ

同社では、社内ネットワークの主要箇所を Cisco Start 製品に置き換えたことで、故障率が激減し、かつ全社のネットワーク管理性が格段に向上した。

「中小企業に最適化された Cisco Start だからこそ、納得のコストでネットワーク管理性と信頼性を高めることができました。具体的には、ネットワーク経路で機器のログなどのモニタリングができるため、万が一の障害時にも適切かつ迅速な対応が可能です」と、五十嵐氏は Cisco Start 導入の効果について説明する。この点について、福井キヤノンのサポートクオリティ担当チーフ 岩田 正明氏は、次のように付け加える。「シスコ製品は故障する事がほとんどなく、非常に安定していますが、トラブル発生時は弊社福井キヤノン側で障害状況をほぼ 100% 把握できるため、担当者が現場に駆けつけた際には適切な対応を迅速に行うことができます」。

また、専任の IT 管理者が不在の東京本社などの拠点には、クラウド管理型のワイヤレス製品 Cisco Meraki MR シリーズを導入し、リモートで設定や管理が行えるようにしている。これにより、機器の状況を福井からリモートで確認することができ、万が一の障害時でも、サポート スタッフが現地に出向く必要はなく、代替機への交換と電源 ON のみで対応することが可能となった。

五十嵐氏は、今後の展望について、次のように語る。「今後は社内のコミュニケーション改革を進めるために、コラボレーション ツールの見直しも考えています。Cisco Start にはコラボレーション システムも充実しているので、導入を考えています。また、セキュリティ要件も厳しくなる一方ですので、より高度な脅威にも対応できるよう、既存の UTM に加えシスコのセキュリティ製品の採用を検討したいと考えています。今後も Cisco Start を軸とした、シスコ製品とのお付き合いは続いていきそうです」。

その他の詳細情報

シスコの中小企業向けソリューション Cisco Start の詳細は、
https://www.cisco.com/c/m/ja_jp/solutions/cisco-start/ を参照してください。

Cisco Start



©2018 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco, Cisco Systems, および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。

本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R)

この資料の記載内容は 2018 年 8 月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー
<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先